

【 国宝 】 善光寺を電気火災から守る スーパーテクト（放電検出ユニット）と感震ブレーカーが採用

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 黒野 透、以下 日東工業）の「スーパーテクト（放電検出ユニット）」と「感震ブレーカー」が、このたび、本堂が国宝に指定されている善光寺（長野県）に採用されました。

設置された場所は、本堂（国宝）、山門（重要文化財）、経蔵（重要文化財）に電気を供給する分電盤3箇所です。設置された「スーパーテクト」は、家屋内のトラッキングやケーブル断線、ショート（短絡）などで発生する火花放電を当社独自技術により検出し、電気火災を未然に防止する日本初の製品です。「感震ブレーカー」は、大地震による電気復旧時に発生する復電（通電）火災の未然防止に貢献します。

日東工業は、「スーパーテクト」と「感震ブレーカー」の普及を通して、電気火災の未然防止に取り組み、本堂が国宝に指定されている貴重な善光寺をはじめ、歴史ある建造物などを継承していくことに貢献し、社会の安全な暮らしのサポートを進めていきます。

■善光寺ご担当者様から設置に関して

善光寺は創建以来、十数度もの大火に遭ってきました。現在の本堂は1707年の再建で、江戸時代中期を代表する仏教建築として1953年に国宝に指定されました。近年の歴史的建造物の火災などにより文化庁から防火対策のガイドラインが示され、地震時における電気火災防止対策として「感震ブレーカー」を順次設置しています。さらに、配線の経年劣化などによる電気火災を未然に防止する「スーパーテクト」を知り設置することにしました。「スーパーテクト」は（一財）日本消防設備安全センター「消防防災製品等推奨」を認証取得しているところも安心できます。



本堂（国宝）

[写真提供：善光寺]

■設置内容

■スーパーテクト（放電検出ユニット）：3台
壁内配線など目視が困難な箇所が発生した火花放電を検出し電気火災の未然防止に有効です。

■感震ブレーカー：3台
大地震による地震発生時及び停電後の復電（通電）時における電気火災の未然防止に有効です。



スーパーテクト
（放電検出ユニット）



感震ブレーカー

本堂（国宝）



内陣



分電盤



感震ブレーカー

スパークテクト
(放電検出ユニット)

山門（重要文化財）



分電盤



感震ブレーカー

スパークテクト
(放電検出ユニット)



鳩字の額



四国八十八ヶ所霊場分身仏

経蔵（重要文化財）



分電盤の横に設置された
増設ユニット



感震ブレーカー

スパークテクト
(放電検出ユニット)



八角の輪蔵

[写真提供：善光寺]

以上